

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

人とシステムの創造と調和を実現し、健全で信頼される企業を目指し続ける

連結売上高経常利益率
3%以上

② 中長期の経営戦略

1. デジタル化需要への対応

官公庁・自治体の行政デジタル化、民間企業の電子化需要増加に対し、国内最大のイメージングセンター活用と受注拡大に注力

3. 特徴ある商品・自社開発ソフトの拡販

多目的インクジェットプリンターやデジタルダイカッターなど特徴ある商品と自社開発ソフトウェアの拡販で差別化強化

2. AI-OCR活用による付加価値提供

スキャナー等の電子化機器でAI-OCRを活用した運用を付加価値として提供し、電子化業務の効率化を実現

4. BPOサービス提案の強化

金融機関のオペレーションリスク回避ニーズに対応した各種管理システムおよびBPOサービスの提案を強化

③ 対処すべき課題

① 紙メディア需要減少への対応

- ・ 商業印刷・出版・事務用印刷の需要減少に対し、特徴ある商品開発と直販力強化で競合優位性構築
- ・ 印刷業界以外への販路拡大で収益性向上を実現
- ・ 特殊機能商品の取り扱い拡充で利益確保優先の取引増加

② 金融機関需要の変化への対応

- ・ キャッシュレス決済普及と設備投資抑制に伴う現金処理機器市場の縮小に対応
- ・ 顧客課題解決に繋がる競争力ある商品開発と市場投入の推進
- ・ 新規市場開拓に向けた商品開発と販売チャネル拡充

③ 自治体業務のDX推進への対応

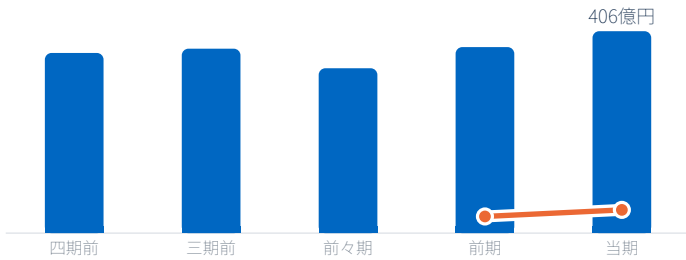
- ・ マイクロフィルムの保存方法・劣化対策・電子化の提案を推進
- ・ 自治体情報システム標準化への選挙用業務管理ソフト対応
- ・ 増大する業務を少ない人員で行うニーズに対応した事務効率化機器開発

面で使えるポイント

- ・ グループの特長として国内最大のイメージングセンターを活用し、デジタル化需要を取り込む戦略
- ・ AI-OCRやデジタルダイカッターなど自社開発商品・ソフトウェアで他社との差別化を実現
- ・ 売上高経常利益率3%以上の目標達成により、安定した業績確保を目指す経営姿勢

証券コード 7521

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
406億円営業利益率
11.5%財務健康度
68点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 55.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
681万円
卸売業内 142位/282社平均年齢
46.0歳
卸売業内 51位/283社平均勤続
20.0年
卸売業内 13位/282社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

